

団体活動報告書

記載日：令和 5 年 5 月 2 5 日

団体登録番号

第 4 2 2 号

ふりがな	えぬびーお-ほうじんきつつきねっとわ-くいわて		
団体名	NPO法人キツツネットワーク岩手		
ふりがな	いがらしだし	ふりがな	かわむらまさひろ
代表者名	五十嵐 正	記載者名	川村 正博
前年度の活動内容	活動期間：令和4年4月1日～ 令和5年3月31日 1 終活サポート事業 研修資料送付（私の生きるノート、同サポートブック） 2 子どもの健全育成を図る活動（松本紀生氏アラスカフォトライブ）盛岡市内の中学校2校で開催 3 キツツキカフェ「ゆずりは」開催 (1)食と健康を考えるつどい～免疫を高める食生活～ (2)終末期の在り方について～お寺やお墓の関わり方～ 4 会報発行（年3回） 5 会議開催：理事会4回、理事等連絡会13回、事務局会議8回 詳細は別紙資料（令和4年度事業報告書）参照		
主な活動日	毎月土曜日 等		
主な活動場所	上田公民館（盛岡市上田4-1-1）等		
貸ロッカー	利用： 有 ・ ☒ 無 番号：	貸レターケース	利用： 有 ・ ☒ 無 番号：
ボランティア情報	※ボランティアの募集等がございましたら記載ください。（活動内容・場所・日時等） 会員（正会員、賛助会員）の入会を募っております。共に活動を希望したい方は当法人まで連絡をお願い致します。（電話080-2835-1075 FAX019-647-8060）		
他の団体や県民の皆さんへのメッセージ（ご自由にお書きください）	当法人は「世代をつなぐ 老いても、病んでも、自分らしく心豊かに」を運営コンセプトに、キツツキ健康スマイル☆サイクルに基づいた「知・徳・体・食・美」等に係る事業を行っています。また、高齢化社会に向けて健康・医療・介護等、各分野の知識を学ぶなど多くの方々に生き生きとした生活を送っていただけるよう支援し、特に健康寿命の延伸を目指しながら社会福祉の増進に寄与したいと考えています。 なお、昨年9月2日には岩手県から認定NPO法人の更新を認証されております。		

【留意事項】

※登録団体は、毎年4～6月末日までに前年度の「団体活動報告書」（この様式：県活様式1-9）を提出してください。NPO活動交流センターで閲覧します。

※2年連続して「団体活動報告書」の提出がない団体は、団体登録を抹消します。

※団体登録内容に変更がある場合は、「団体利用登録（変更）申請書（県活様式1-1）を提出してください。

2022.5改



センター使用欄					
受付者	/	入力者	台： /	DB： /	検索者

令和4年度事業報告書

特定非営利活動法人キッツネットワーク岩手

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

1 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

年 月 日 (曜)	事 業 内 容	備 考
令和4年 5月15日(日)	令和4年度第7期通常総会 「書面表決・表決委任」により開催 午前 10時30分～11時30分 場所；上田公民館「ひだまり」 第1号・第2号・第3号議案「議決結果は全て承認された。」 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため上記方法により開催した。	正会員70名中 64名の議決により、全ての議案が承認された。
6月12日(日)	終活サポート事業 研修資料「私の生きるノート」・「同サポートブック」送付 発行（岩手県医師会 岩手県） ※ 新型コロナウイルス感染拡大により、学び研修資料として、「豊かな人生を過ごすために」の同上冊子を全会員に送付した。	全会員に送付
7月22日(金)	「会報」第42号発行	400部
7月30日(土)	キッツキカフェ「ゆずりは」（第22回）開催 2022食と健康を考えるつどい 「免疫を高める食生活 ～健康寿命を延ばす食の実践～」 講師；NPO法人ヘルスプロモーション理事長・医師 佐藤和子先生 午後1時00分～3時30分 場所；ビッグルーフ滝沢 参加者；会員・一般市民33名、主催者7名 合計40名 ※1 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施した。	参加者数40名
9月29日(木)	「会報」第43号発行	400部
10月6日(木)	学び研修事業（子どもの健全育成を図る活動） 夢と感動を与え、生き方に学ぶ「アラスカフォトライブ～オーロラの向こうに～」開催 講師；写真家 松本 紀生 氏 第I回 午前 10時00分～11時30分 会場；盛岡市立城東中学校体育館 参加者；城東中学校生徒170名、教職員20名、主催者6名 合計196名	第I回 参加者数196名

年 月 日 (曜)	事 業 内 容	備 考
10 月 6 日(木)	同上 第Ⅱ回 午後 1 時 30 分～3 時 00 分 会場；盛岡市立河南中学校体育館 参加者；河南中学校生徒 405 名、教職員 38 名、主催者 7 名 合計 450 名 (注) 1 本事業は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施した。 2 本事業は盛岡市市民協働推進事業補助金の助成を受けて実施したものです。	第Ⅱ回 参加者数 450 名 合計参加者数 646 名
11 月 19 日(土)	キツツキカフェ「ゆずりは」(第 23 回) 開催 終末期の在り方について ～お寺やお墓の関わり方～ 講師；龍谷寺副住職 上館文隆 氏 午後 1 時 00 分～3 時 00 分 場所；覆馬場プラザ 参加者；会員・一般市民 23 名、主催者 6 名 合計 29 名 ※ 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施した。	参加者数 29 名
12 月 22 日(木)	「会報」第 44 号発行	400 部
令和 5 年 1 月 21 日(土)	1 月 21 日に開催予定の第 24 回キツツキカフェ「ゆずりは」講演会(遺産相続について「講師：笹木正 氏」)は、新型コロナウイルス感染者数の大幅な増大・拡大により中止とした。	中止

(2) その他の事業
実施しなかった。

2 事業の成果

事業は新型コロナウイルス感染者数が大幅に拡大したため、年明けに予定していた第 24 回キツツキカフェ「ゆずりは」を中止とした。その他の計画していた事業は、関係機関並びに会場等のご協力をいただき、感染防止対策を徹底することにより計画通り実施することが出来た。事業等の成果は以下のとおりです。

(1) 夢と感動を与え生き方に学ぶ、子どもの健全育成事業

松本紀生「アラスカフォトライブ～オーロラの向こうに～」は、中学校 2 会場で開催し素晴らしいアラスカの大自然の映像とトークにより 646 人の皆さんに「夢と感動」を与えることができた。また、松本紀生さんの生き方が生徒たちのこれからの人生や将来の進路を考える上で大きな指針となり多くの示唆を与えてくれたものと思われる。また、多くの生徒の感想文からも「本当に素晴らしい内容で感動した」と記されており、大きな成果を上げたものと思っております。コロナ禍のなか各中学校のご協力をいただき、感染防止対策を徹底し安全に実施することが出来た。詳細は会報第 44 号に掲載しております。

なお、本事業は盛岡市市民協働推進事業補助金の助成を受けて実施したものであり、ご支援に感謝申し上げます。

(2) 終活サポート事業

研修資料の送付

新型コロナウイルス禍の中にあり学び研修の一助として、研修資料「私の生きるノート」・「同サポートブック」発行(岩手県医師会 岩手県)を全会員に送付した。本冊子は「幸せに歳を重ね、人生の最後まで自分らしく豊かな人生を過ごすために」、それぞれの方が望む人生の最終段階における医療・ケアについてより良い話し合いにつながることを願って作成されたノートであり、当法人のコンセプトである「世代

をつなぐ 老いても、病んでも、自分らしく心豊かに」とつながるものであり、活用した多くの方々からは「家族と共用する大切な内容構成となっており大変ありがたかった」との感想が寄せられており、今後の皆様の人生の歩みに供し活用していただければと思います。

(3) カフェ事業

キツツキカフェ「ゆずりは」は、3回予定しておりましたが、年明け後の3回目は新型コロナウイルス感染者数が大幅に拡大・増加したことによりやむなく中止とし、2回の実施となった。

ア 第22回キツツキカフェ「ゆずりは」開催

講演会ー2022 食と健康を考えるつどいー「免疫を高める食生活 ～健康寿命を延ばす食の実践～」

講師に NPO 法人ヘルスプロモーション理事長・医師の佐藤和子先生をお迎えして開催した。特に今回は、食品成分表に基づいた献立による栄養素の整った弁当をひだまりさんのご協力のもと作っていただき参加者全員で試食した。「バランスのとれた内容のお弁当で美味しくいただきました。」と参加者からも大変好評であった。佐藤和子先生からは弁当の分析表、食品成分カレンダー、各栄養素の性質と生理作用、正しい食生活の実践パンフレット等の沢山の資料を配布していただき専門的な内容の講演をいただいた。

参加した多くの方々からは「食の大切さの理解が深まり大変勉強になり感謝しております。」という声が多く寄せられた。開催にあたっては会場のご協力を頂きながら新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し安全に実施することが出来た。詳細は会報第 43 号に掲載しております。

イ 第23回キツツキカフェ「ゆずりは」開催

法話会「終末期の在り方について～お寺やお墓の関わり方～」

講師として盛岡市の龍谷寺副住職の上館文隆 氏をお迎えし開催した。最初に法話をいただいた後、参加者からの質疑応答の形式で行われた。龍谷寺の歴史やその背景等について、また先祖供養等について詳細にわかりやすくお話をしていただき理解を深めることができた。さらに質疑応答により、具体的にお寺やお墓の関わり方等についてお話を伺うことができ、参加者からも「お寺に関わるいろいろなことを知ることができ、大変参考になる素晴らしい法話会であった」と感謝の声が多く聞かれ、大きな成果を上げ終了することができた。開催にあたっては会場のご協力を頂きながら新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し安全に実施することが出来た。詳細は会報第 44 号の別冊に掲載しております。

(4) 会報発行事業

会報は3回発行し、会員の皆様並びに各行政関係機関等にも当法人の活動状況を幅広く発信し称賛をいただくことができた。

以上、新型コロナウイルス拡大禍の中でありましたが、各関係者の皆様のご協力をいただき万全の感染防止対策のもと各事業を実施することができ、安全・無事に終了できたことを感謝申し上げます。各事業の参加者のアンケート・感想文等からも大きな成果を上げ得たものと捉えております。

3 今後の課題

令和4年度は、当法人が「認定NPO法人」として認定されてから5年目の更新を向かえ、去る8月9日に岩手県の認定の審査を受け、令和4年9月2日に無事更新が認定されました。

会員数 250 名という大規模な認定NPO法人として県及び市町村や関係機関等からの社会的信用度も増し今後の活動に期待が寄せられてきているところであります。

今後の課題として

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大に対応した事業推進のあり方について
- (2) 継続課題である事務所の設置に関することについて
- (3) 財政基盤の確立に関することについて
- (4) 役員等の高齢化の対応策について
- (5) 設立以来10年を経過し認定NPO法人としての今後のあり方について

以上の課題に対処しながら、当法人の設立趣旨に基づいた事業・活動を一層推進し、認定NPO法人としての使命と社会的信用基盤のもと、高齢化社会に対応した法人として歩み続けていく所存でありますので、会員の皆様のさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。